

★これだけはぜひ!安全運転のために!★

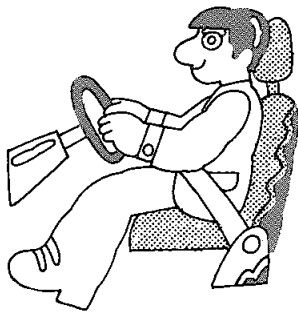
## 安全運転のために——

### ★正しいドライビング・ポジションは

急カーブや振動に対して身体がふらつかず、両手両足を敏速にかつ、正確に動かせる姿勢です。

また前後の視界が十分確保できる、長距離運転にも疲れな姿勢であることも大切です。

(シートの調整の項目参照)

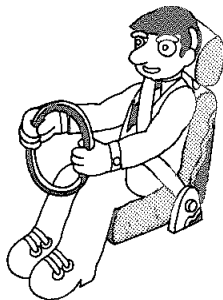


### ★セーフティ・ベルトは

運転する前には、必ず装着しましょう。

特に腰ベルトは腰の位置にピッタリと装着しましょう。

(セーフティ・ベルトを忘れずにの項目参照)

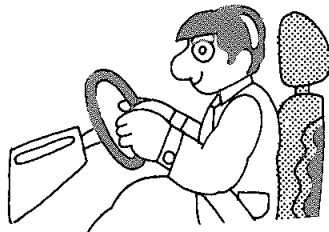


腹の位置にかけると万一のとき身体にくいこみ危険です。

### ★ヘッド・レストの位置は

頭の後方の位置が最適です。ヘッド・レストとの間にはぎりこぶしの幅以上あけないようにしましょう。

(ヘッド・レストを正しい位置にの項目参照)



ヘッド・レストが首の後方にあったり、ヘッド・レストとの間隔が多いと万一のとき危険防止に役立ちません。

### ★長い坂道を下る場合は

エンジン・ブレーキを活用しましょう。

(ブレーキ、クラッチの使い方の項目参照)

フット・ブレーキを踏み続けるとブレーキが、効かなくなります。

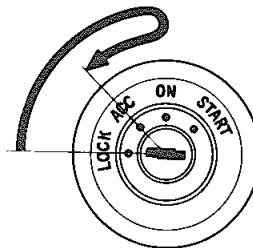


### ★エンジンを停止して移動する場合は

(けん引される場合など)

エンジン・スイッチは一度ONにしてからACCの位置にしましょう。

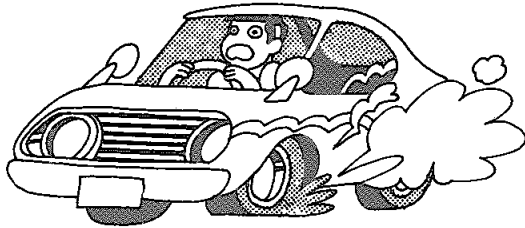
(エンジン・スイッチの項目参照)



LOCKの位置にして万一ハンドルがロックされているとハンドルがきれなくなり危険です。

★タイヤは

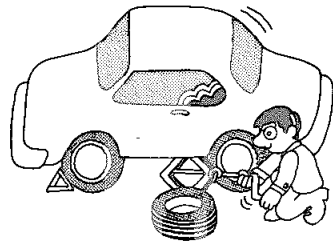
1. 走行前に必ず、空気圧を点検しましょう。  
(タイヤ空気圧の項目参照)
2. 摩耗して溝が浅くなったら取り替えましょう。



走行中、パンク・バーストを起こしやすくなり危険です。

★ジャッキを使用する時は

輪止め、パーキング・ブレーキを忘れずに。  
所定の位置に確実にセットしましょう。  
(パンクの処置の項目参照)



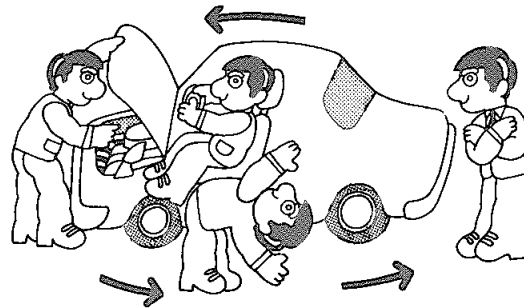
ジャッキがはずれると車が急に傾き大変危険です。

★排気ガスは

密閉した車庫内で、長時間エンジンをかけたままにしておくと、空気を汚してガス中毒を起こす危険があります。

★仕業点検は

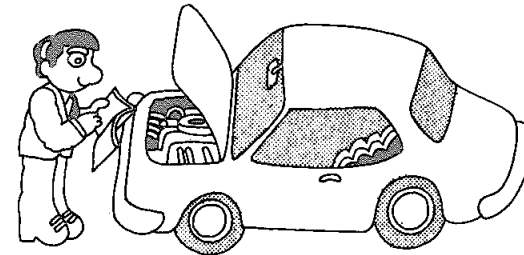
故障を未然に防ぐため、必ず行ないましょう。  
(お出かけ前の点検の項目参照)



★定期点検は

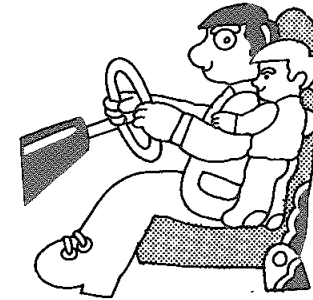
整備手帳にもとずいて必ず行ないましょう。

車の性能を維持し安全に運転していただくためには大切なことです。

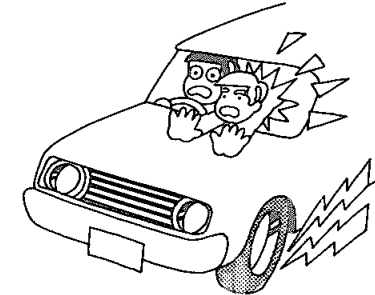


お子様を乗せるとき—

★なるべくおとなと一緒にリヤ・シートに  
すわらせましょう。



助手席ではドライバーのじゃまになります。



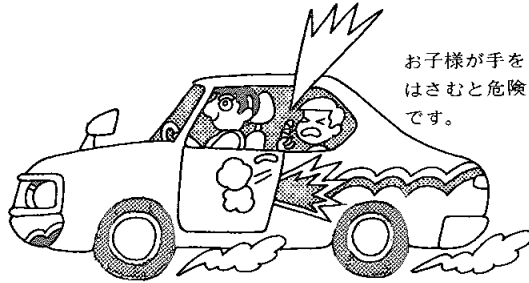
万…のとき放り出される心配があります。

★ドア・ロックを確実にしましょう。



ドア・ハンドルをいじって開くと危険です。

必ずおとながドアの開閉をしましょう。

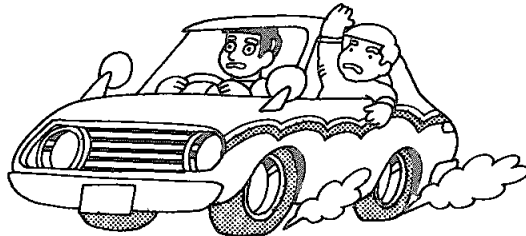


★車から離れるときは、お子様と一緒に連れてゆきましょう。



室内にお子様を残しておくと思いがけない事故が起きる場合があります。

★窓から顔や手などを出さないようにしましょう。

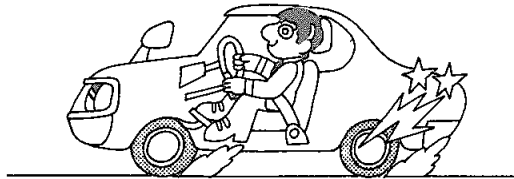


窓からのりだすと思いがけないケガをすることがあります。

## 故障を防ぐために——

### ★パーキング・ブレーキ・レバーは

走行する前に確実にもとまでもどし、インジケーター・ランプが消灯するのを確かめましょう。  
(パーキング・ブレーキ・レバーの項目参照)

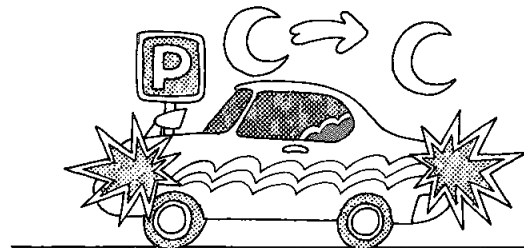


ひいたまま走行するとひきずりを起こしブレーキが効かなくなります。

### ★バッテリーは

完全充電でも、エンジンを停止して、ランプ類を使用すると、消耗がげしいものです。

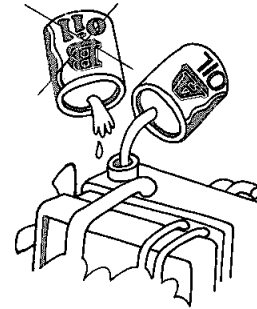
パーキング・ランプ、ハザード・ウォーニング・ランプは必要以外には、使用しないように。



バッテリーが上がり、エンジン始動ができなくなります。

### ★オイルの補給は

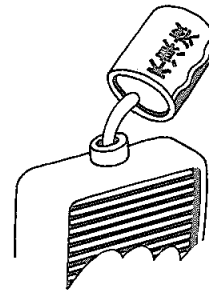
同品質か、それ以上のオイルを使用しましょう。  
(トヨタ純正キャッスル製品の項目参照)



質の異なったオイルを補給すると性能が低下する恐れがあります。

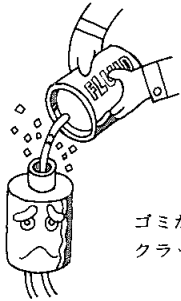
### ★寒冷時になる前にラジエーターには

気温に応じた適当な濃度の不凍液または、ロングライフ・クーラントを入れましょう。  
(不凍液の注入の項目参照)



不凍液またはロングライフ・クーラントを入れないと水が凍りエンジンが破損する恐れがあります。

★ブレーキ・フルードを補給するときは  
同銘柄、同品質のフルードを必ず使いましょう。  
なお、タンク内にゴミがはいらないように十分注  
意しましょう。  
(トヨタ純正キャスル製品の項目参照)

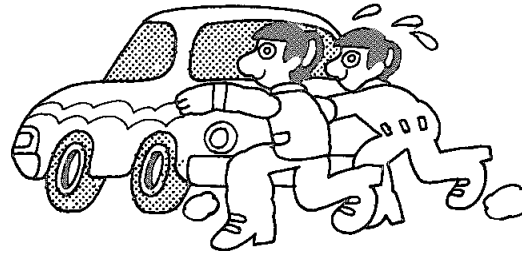


ゴミがはいるとブレーキが効かなくなり  
クラッチは切れなくなることがあります。

## 万一のために

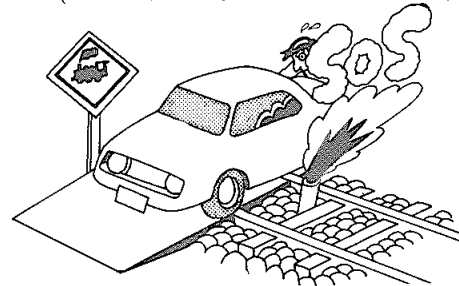
★エンストして始動ができなくなったときは

1. 付近に人がいる場合は安全な場所まで押して  
もらってください。



2. 踏み切りなどで、急を要するときは、スター  
ターで抜け出してください。  
ギヤをセカンドまたはサードに入れ、スター  
ターをまわします。  
このときクラッチから足を離しておきます。  
また平坦路の場合は、トップにすると早く抜  
け出せます。

(マニュアル・トランスミッション車の場合)



踏み切りなど危険な場所では保安炎筒で合図して  
ください。

★高速走行中、パンクやバースト

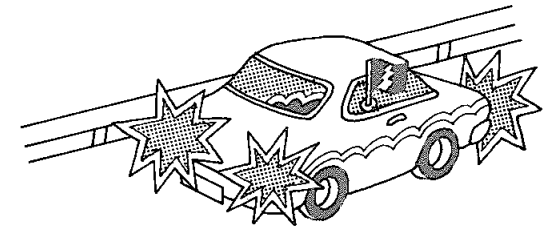
(タイヤの空気が急に抜ける)したとき

ハンドルをしっかりもって急ブレーキは踏まない  
ようにしましょう。

急ブレーキを踏むとハンドルを強くとられ、車が  
横転することがあります。

★故障したら

車を路肩に寄せハザード・ウォーニング・ランプ  
を点滅させるか、または、故障車とわかるように  
赤旗などを目につくように表示します。



★遠出して故障し、なおせないときは

整備手帳のサービス網をご覧になって、最寄りの  
取扱い販売店へ連絡しましょう。